

《令和5年度 富士宮市立稲子小学校グランドデザイン》

【国の方針】

「生きる力」の育成
【静岡県の基本指針】

「有徳の人」の育成

【富士宮市の目指す子供像】

富士山を心に、夢をもって生きる子供

【校訓】

智真 仁善 勇美

【学校教育目標】

『ゆめをもって生き生きと学ぶ子』

【芝川中学校区9年間で

身に付けたい資質・能力】

・自ら学ぼうとする力

・コミュニケーション力

・挑戦し続ける力

・ICT活用力

【目指す子供像】

・目的意識をもって、自ら学ぼうとする子供

・自分の思いを語ることができる子供

・他と関わりながら学ぶことの楽しさを実感できる子供

・自分の目標に向かって粘り強く挑戦する子供

【学校経営目標】

『小規模校の良さを生かし、「自ら学ぶ楽しさ」を実感する子供が育つ学校づくり』

Plan

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

【重点目標】

自己課題解決に必要なスキルを習得する

学び合いを楽しみ、他にわかりやすく伝える

自己課題解決に向け、他と関わりながら粘り強く挑戦する

Action

○評価後の改善案について検討・実施

【短期】打合せ、職員会議、職員研修

【中期】学校評価、学校評議員会

P T A理事会

【長期】教育課程編成

S D G s への取組

Check

【学校評価重点項目・目標数値】

・学校に楽しく通っている。 100%

・みんなで学び合う授業は楽しい。 100%

・めあてにむかって頑張っている。 100%

・学びを振り返り次に生かしている。 100%

・気持ちのよいあいさつをしている。 100%

【評価場面（子供）】

・授業における振り返り

・単元テスト、定着度調査

【評価場面（教職員・学校関係者）】

・日常的な学習評価、生活評価

・学校評価（年2回）

・学校評議員会、P T A理事会

・行事毎の成果と課題の分析

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「い」つでもつかえるわざをみにつけよう

○基礎・基本の知識・技能の習得

・1人1台端末の効果的な活用

○学習のスキルの定着

・授業につながる家庭学習の習慣化

○成長にプラスとなる生活習慣の定着

・体力向上につながる環境づくり

「な」かまとまなぼう つたえあおう

○子供同士で学び合う複式学級の授業の充実

・協働的な学びの場づくり、リーダー学習の充実

○わかりやすく伝える表現力の育成

・他学年・他校との交流、地域・外部人材の活用

○自分で考え、質問する資質・能力の育成

・自分の思いを表出する活動の意図的な設定

「こ」れまでのまなびをふりかえろう つなげよう

○見通しをもち、振り返り、調整し、粘り強く取り組む学びのサイクルの定着

・振り返りカード、キャリア・パスポートの活用

○良好な人間関係を育む他との関わり方の育成

・縦割り活動の計画的な実施 ・あいさつ運動の充実

○互いを尊重する心の育成

・道徳授業内での積極的な関わり合い

「芝川を愛し、地域に貢献する児童・生徒」の育成

家庭・地域・外部機関との連携・協働・支援 [社会に開かれた教育課程]

【家庭・地域との連携】

○保護者を含めた地域人材の活用

・富士山学習を中核とした授業等への関わり

○情報の送受信

・地域・保護者との行事の合同実行委員会

・学校だより等、学校HP、報道提供

○地域行事への参加

・稲子梅祭り、アユの放流、グラウンドゴルフ交流等

○感染症予防・防災・安全教育

・コロナ対応、「危機対応マニュアル」の周知

・命を守る教育の推進、地域防災訓練への参加

【小中連携の推進】

○教職員間の連携

・芝川中学校区4校連絡会の実施（5部会）

・9年間で身に付けたい資質・能力及び具体的な手立ての共有

・研究授業の参観を通じた授業改善の推進

○児童・生徒間の交流

・芝川中学校の授業参観・体験

・芝富小学校、内房小学校との合同行事の実施や授業を通じた日常的な交流活動

・北部小規模校との交流活動 ※小規模校連携事業